



作品
差し上げ
ます!

県民の森だより 7 2016 月号

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

ツキノワグマ出没情報

※ここに書いてある方法のとおりには必ず大丈夫とは言えません。クマに会わないようにするのが一番大切です(県自然保護課HPより抜粋)。

ヤマモトタイシさんより、「カミのドウブツ展」に展示したダンボール作品の中から数点を、みなさまにプレゼント致します!ご希望の方は、館内に設置してある応募用紙にご記入の上、お申込み下さい。抽選にて各1名ずつに作品を差し上げます(取りに来れる方のみ・応募締切7月31日)

今年は例年になく、全国的にクマの目撃情報が多いようです。県民の森内での今年度になってから目撃情報は2件(4月13日・6月21日)で、いずれも富谷方面の道路で見かけたとの情報です。通常8月頃にツキノワグマの出没がピークとなるとのことですので、クマの活動が活発になる早朝、夕方の単独散歩は避け、日中でも散歩の際にはクマ鈴やラジオなどの音の出るものを携帯し、自分の存在をアピールするよう心掛けて下さい。

●万一クマに会ってしまったら

クマとの距離を保つことで、お互いの興奮を静める効果があります。慌てて逃げ出したりせず、クマに背中を見せずに向き合ったまま、ゆっくりと後退してください。

●もし、クマが攻撃してきたら

腹這いになり、両手で首の後ろをガードします。ザックを背負っていれば背中を守られ、一番大事な頭部や首部を守られます。

クマの攻撃は最初の一撃で終わり、その後人間から逃げていきます。



刈払作業が始まりました



夏が近づくにつれ、園内の遊歩道沿いの草丈もどんどん伸びつつあります。今月より県民の森園

内全域、随時刈払機による草刈作業が始まっております。作業を見かけた際には、飛び石や刃による事故防止のため、むやみに近づかないよう、お気をつけ下さい。

県民の森名木紹介 vol.20 イタヤカエデ



旺盛に葉を茂らせるこのカエデは、春樹冠一杯に一見して芽吹き…と見まごう黄色の花での飾りからスタートし、秋の黄葉まで一年を通じて魅力的な樹木の一つです。

写真は、菅野沢溜池の一番上の南岸にあるもので、花時期の後半若葉も萌えはじめの頃のもので

他、青少年の森はカタクリ園にも立派な大木が聳えています。ぜひ、来春花時期を逃さずご覧ください。(工藤)

今月の

けんみんのもり写真館

スタッフが見つけたしぜんのひとコマ



ヤマホタルブクロ (キキョウ科)
山螢袋

名前は広鐘形の大きな花に“ホタル”を入れて昔の子供が遊んだかもしれないと、大人が想像してつけた説と、チョウチンバナの方言があります。こちらはホタルブクロの花が“提灯”に似ており、古くは提灯のことを火垂袋(ほたるぶくろ)と呼び、本来の名はその花の形からきたようです。本種はホタルブクロの変種で萼片の付属片が反り返っていません。(駒野)



オカトラノオ (サクラソウ科)
岡虎の尾

名前は花序を虎の尾に見立てたものです。古い時代から日本人はトラのことを知っており、植物の1部がトラの1部に似ているときはトラの名前を付けたようです。揺れる白い花穂は、虎の尻尾のように、しなやかに伸び風に揺られています。花は下から順次咲き上がります。(駒野)



キビタキ(オス)
森のピッコロ奏者との別名を持ち、「ピッポプリ・ピッポプリ」と高音で軽快な声を森内に響かせます。そろそろ子育てが終了して、帰る支度をそろそろでしょうか。写真はアスレチックの最後、記念館への道の途中で撮影しました。(入岡)



スジグロシロチョウ
園内でよく見かけられるチョウです。大きさは50～60mmほどで、翅脈(羽根の筋のようなところ)の黒色が目立ちます。モンシロチョウは大きさが35～45mmほどと小さ目で、翅脈は黒くないのですぐに見分けられますね。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「7月・8月のイベント情報」をご覧ください